

幸田町人権啓発 講演会を開催します！

町村合併70周年記念



戦場で生活している人々の家族の絆や、
取材を通じて見えてきた人間が持つ愛の深さ、
命の大切さを写真や映像を織り交ぜながら、
世界から見た日本、日本の魅力をメッセージとしてお届けします。

入場無料

*入場整理券が必要となります。



- わたなべ よういち
講師 渡部 陽一氏 戦場カメラマン
フォトジャーナリスト
- と き** 12月15日(日) 午後2時～3時30分(開場:午後1時30分)
- と ころ** 町民会館 つばきホール
- 定 員** 400人(全席自由)
- 申 込 み** 入場整理券は、11月3日(日)午前9時から町民会館1階事務室
で配布します(1人2枚まで)。
- 主 催** 幸田町
岡崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会
- その他** 車イス席、手話通訳があります。
未就学のお子様の入場はご遠慮ください。

問 合 せ 幸田町文化振興協会 ☎(0564)63-1111 FAX (0564)63-5186
住民課 住民窓口グループ ☎(0564)62-1111(内線121) FAX (0564)62-6555

第2回

こちら 博物館準備室

第2回は、新博物館基本構想で取り上げた『幸田町に
なくてはならない文化財』から「幸田窯」を紹介します。

幸田町北部(坂崎・長嶺・久保田・大草)から岡崎市
南部(上地町・竜泉寺町)にかけての丘陵地では、飛鳥
時代から室町時代(7世紀～13世紀)の人々が日常的に
使用した焼き物が生産されていました。幸田窯は80基以上あったといわれ、尾張の猿投窯、遠江
の湖西窯とともに東海地方の焼き物産業の一翼を担っていました。幸田窯の中で、焼き物を生産
した当時の姿が残る百血古窯跡群は、町指定史跡として保護されています。

幸田窯産の焼き物は、幸田町東光寺遺跡や岡崎市矢作川河床
遺跡の他、西尾市や蒲郡市の遺跡からも出土しており、西三河
南部から東三河西部の広範囲に流通していたことが明らかと
なっています。

郷土資料館では、幸田窯の焼き物を収蔵し、一部は常設で展
示しています。古代と中世における幸田町域の重要な産業で
あった焼き物生産は、幸田の歴史を語る際、欠かすことができ
ない大事なテーマなのです。



幸田町内にある主な窯跡の位置図



幸田窯で生産された焼き物



◀新博物館基本構想
についてはこちら

問 合 せ 文化スポーツ課 文化グループ(中央公民館内)
☎(0564)62-1111(内線195) FAX(0564)63-1675
月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日が休館)